

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2008-279737(P2008-279737A)

【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2007-128543(P2007-128543)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 M

G 0 3 G 15/01 Y

G 0 3 G 15/01 1 1 2 A

G 0 3 G 15/01 S

H 0 4 N 1/387 1 0 1

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月14日(2010.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

複数の色を重ね合わせて多色画像を形成する画像形成方法であって、
蓄積手段が、各色ごとに、主走査方向における複数のラインづつ、該ラインに含まれる画素のデータを蓄積する蓄積工程と、

走査手段が、各色ごとに読み出された前記画素のデータにより変調されたビームを用いて対応する像担持体を走査する各色ごとの走査工程と、

補正手段が、前記走査工程において 1 ラインを走査する際に、読み出し対象ラインを予め定められた順序にしたがって乗り換えることで、前記像担持体の主走査方向における走査線の湾曲を補正する補正工程と、

補間手段が、前記読み出し対象ラインが乗り換えられる際の乗り換え点の前後に位置する 1 つ以上の画素のデータを補間する補間工程と、

補間区間決定手段が、前記複数の色のうち n 番目の色について前記補間工程において補間される補間区間を、前記 n 番目の色の乗り換え点から、該乗り換え点に対して最も近い m 番目の色の乗り換え点までとする補間区間決定工程とを含むことを特徴とする画像形成方法。